ふれあいひろば

第41号

2025年３月４日発行　発行者　四中地区市民委員会　文化広報部

四中地区：人口 23,644 人　男 11,798 人　女 11,846 人　世帯数 11,466 世帯　R７.１.１現在

スポーツフェスティバル

ユネスコ研究大会オープニングセレモニー

水郷桜イルミネーション点灯式

全国大会演奏後

土浦第二小学校合唱団
～つながりを感じて～

教諭　坂本　恵美

今年も茨城県合唱コンクールにて金賞、県知事賞を受賞し、全国大会への切符をつかみました。福島県で開催された全日本合唱コンクールでは銅賞を受賞し、県代表として大舞台での演奏経験を積みました。その他、様々な市内イベントに出演し、たくさんの方に聴いて頂きました。どのステージでも音楽を通して心のつながりを感じるものばかりでした。来年も私たちの歌声を聴いて、一人でも多くの人が幸せな気持ちになれるよう歌い続けていきます。応援よろしくお願い致します。

バス研修

文化広報部　野口　貴代

十一月一日、文化広報部のバス移動学習が七年振りに開催され、香取市の香取神宮と小江戸佐原に行って来ました。神社を参拝、重要伝統的建造物が残る東薫酒造を中心に小野川沿いを見学・散策して、佐原の歴史に触れて来ました。

佐原の街並み

香取神宮

市民体育祭

下高津小学校

実行委員長　菊地　宏充

十月六日、「みんなで創る最高の瞬間」を合言葉に、昨年と同様、少子高齢化の社会情勢のなか子どもから年配の方々まで幅広く参加して頂けるよう工夫して各町会対抗にて行いました。参加者は、団体戦、個人戦にて各町会のために心地よい汗を流しました。来年度も多数の皆様のご参加をお待ちしています。

土浦第二小学校

文化広報部　今野　あつ子

今年の体育祭も昨年同様、規模を縮小し午前中のみの開催でした。全員参加の○×クイズ、綱引きは大人も子どもも一緒に楽しく盛り上がりました。

お互いの顔が見えて一緒に楽しむイベントは、やはり地域の交流には欠かせないものだと痛感します。声を掛け合い、挨拶をすることは、街の明るさと防犯にも役に立ちます。

参加する町内会が増えて、明るい笑い声が沢山聞こえてくる、そんな街になっていけますように。

東小学校

スポーツ推進委員　田中よしのり

今年は四町内の地域参加での開催となり、以前と比べますとだいぶ種目も人も減ってしまいましたが、子ども達と地域の方々が力を合わせて協力し、声援に応えようと頑張る姿はとても感動的でした。競技を通して地域の皆さんの交流を深めることが出来たのではないかと思います。また、皆様に会場設営や、準備・運営にご協力頂きありがとうございました。準備段階から体育祭を良いものにしようと一致団結し町内外の皆さんとの絆も一層深まったのではと感じました。

来年も楽しく市民体育祭ができるよう、邁進したいと思います。

四中地区スポーツ協会

スポーツ推進委員長　吉田　実

四中地区スポーツ協会では近年お子さんから高齢者までが楽しめる障がい者スポーツを中心に開催しています。障がい者スポーツで世代を超えた「ふれあい」があります。また、成績優秀者の参加者は、他の地区の大会に出場して頂き四中地区を超えた「ふれあい」があります。これからも地域の為にがんばります！

チャレンジクラブ

チャレンジクラブの思い出

下高津小学校　六年　高田　彩桜

この一年間をふり返って、私が一番心に残ったことは、九月二十九日に行った水戸森林公園で木工工作をしたことです。

その日は、自然観察をしてから、木の板で本立てを作りました。くぎを打ったり、ヤスリをかけたり、絵をかいたりして、自分オリジナルのもの作りの楽しさを知りました。作った本立ては、今も大切に使っています。

チャレンジクラブでいろんな体験をして、たくさんの思い出ができて、楽しかったです。

チャレンジクラブを開催して

指導員　冨島　進

令和六年度のチャレンジクラブは、十八名の児童・生徒が科学やスポーツ、日本の伝統や食文化を体験しました。

本所防災館では、台風並みの風雨や震度五強の揺れを体験し、テレビ朝日出前講座では、アナウンサーやディレクター、タイムキーパーになってニュース作りに挑戦しました。おもしろ理科実験やエキスポセンター・地質標本館では、備長炭電池やレモン電池の作成、プラネタリウムでの星や星座の観察、地球の歴史、地質資源や鉱物資源、化石などを学ぶことで、科学にふれることができました。森林・林業体験では、様々な樹木を観察したり、本箱を作成したりし、生け花では、カーネーションやかすみ草を使って一輪挿しを作ることで、植物を身近に感じることができました。

【年間活動報告】

五　月　開講式、モルック
六　月　本所防災館と東京スカイツリー
七　月　テレビ朝日出前講座
八　月　おもしろ理科実験
九　月　エキスポセンターと地質標本館
十　月　森林・林業体験
十一月　生け花
十二月　バランスボール
一　月　肉まんづくり、閉講式
二　月

小松花いっぱい運動　秋の花壇作り

文化広報部　今野　あつ子

十一月十七日、小松公民館にて「花いっぱい運動　秋の花壇作り」が行われました。毎年春秋の二回行われています。小さなお友達がお年寄りの方と一緒に、楽しそうに花壇にお花を植えていました。小松では町内の様々な場所で「花いっぱい運動」が広がっていく仕組み作りにも取組んでいます。土浦がお花でいっぱいの街にしていければと思っています。

令和６年度　後期公民館講座

クリスマスの寄せ植え

講師：熊澤　康子

庭先もクリスマスに

羽子板のお正月飾り

講師：高須　由加里
（Flower Shop Flody）

アレンジ羽子板でお正月を迎えよう

自分の心と体を元気にしよう！楽しくエクササイズ

講師：富田　恵里子

エクササイズで幸福度 UP

自然災害への備え！今、私たちにできること

講師：消防本部予防課

災害への備えを学びました

簡単薬膳講座

講師：井上　舞衣

薬膳で潤いと
アンチエイジングを

スマホで映え写真

講師：いちご

思い出をよりきれいに撮影!

水戸藩における尊皇攘夷運動の成立

講師：由波　俊幸
（茨城県立歴史館）

歴史の知識を深掘りできました

愛宕神社の歴史をたどる（三）

文化広報部　村山陽一

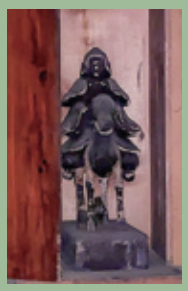
愛宕神社の御祭神は軻遇突知命であり、御神体は軻遇突知命の本地仏勝軍地蔵である。

軻遇突知命とは、伊邪那岐命・伊邪那美命が最後に生んだ神であり、火の神であったため、この神を生んだ母神伊邪那美命は火傷によりこの世を去った。その後、父神伊邪那岐命はこれを怒り、軻遇突知命は十字剣「天之尾羽張」により殺された。

軻遇（迦具）は輝くの意であり、総じて火を司る神であり、鎮火・火防の神として、愛宕・秋葉の名の神社として全国的に信仰されている。

当神社は、江戸時代愛宕権現と呼ばれ、火防・火伏せの神として祀られ信仰され現在に至っている。お日待ちのお札は、神棚または荒神（火伏せの神・竈神）として火を使用する場所に祀られる。祭祀は秋の例祭として十一月二十四日（御神体の御開帳は二十二年毎・次回二〇四四年）、春の祈年祭（お日待）として一月二十四日、その他の行事として十二月三十一日夕刻～一月一日の元旦祭の御焚上げ、達磨・お札の頒布、二月三日夕刻の節分祭の福豆・福銭撒き等、初午祭（旧初午）の稲荷旗奉納、下高津四町会祭礼実行委員会主催の行事として七月二十日前後の土・日曜二日間の祇園祭も執り行われる。

▲開帳記念


▲御神体 勝軍地蔵

▲厨子

下高津小学校 ジャングルジム贈呈式

新ジャングルジム完成

これまでのジャングルジムが老朽化等で撤去となり、毎日のように遊んでいた子どもたちは淋しそうでした。

そのような中で、新ジャングルジムが完成し、十月二十九日に贈呈式が行われました。企業版ふるさと納税により、土浦市にご寄付いただき本校にジャングルジムが設置されました。ご寄付いただきました方々に感謝し、これから大事に活用していきます。

市の絵画作品コンクール入賞者

（敬称略）

◆優秀賞

【東小】
岩瀬　茉鈴（二年）
塚田ひかり（三年）
岡田　晴琉（五年）

【下高津小】
田代　蒔彩（一年）

【土浦二小】
須藤　蒼空（二年）
黒田アリス（二年）

【土浦四中】
新井　葉月（六年）
小室　南奈（八年）

◆優良賞

【東小】
吉田　葵羽（三年）

【下高津小】
君山　諒（四年）
長谷川美雨（六年）

新刊図書案内

・成瀬は天下を取りにいく　宮島　未奈
・名探偵のままでいて　小西　マサテル
・こどもかいぎ　北村　裕花
・白鳥とコウモリ(下)　東野　圭吾
・クスノキの女神　東野　圭吾
・婿どの相逢席　西條　奈加
・ノラネコぐんだん　ぺこぺこキャンプ　工藤　ノリコ
・やる気1%ごはん　テキトーでも美味しく作れる悶絶レシピ500　まるみキッチン
・心がほぐれる1分習慣　会社に行くのがツラいときの45のヒント集　西上　貴志
・グラーフ・ツェッペリン　あの夏の飛行船　高野　史緒

事務局　四中地区公民館内　☎824-9330

VEGETABLE OIL INK
環境に配慮し、再生紙・植物油インキを使用しています。